



キャリアナビ通信

令和3年 10月 1日

名古屋市立植田東小学校

キャリアナビゲーター

鍛先 恵美子

これまで何度かテーマにしている、「あたり前」の変化。植田東小学校でも、最近あたり前の変化がありました。

【授業でタブレットをつかえる！】

植田東小学校でも、9月から授業でタブレットを使っていますね。これからは、学校でタブレットを使うことがあたり前になっていくでしょう。



それによって、
どんないいことや楽しいことがあるのだろう？

ところで、植田東小学校のほとんどの子は、ランドセルを背負って登校しています。あたり前に感じている人も多いかもしれませんがね。しかし「ランドセル」を使うことは、あたり前のことなのでしょうか？ ちょっと考えてみましょう。

Q1, そもそも、ランドセルはいつから、なぜ使われるようになったのかな？ 他の地域でも使っているのかな？ 他の国ではどうだろう？ 気になった人は調べてみてね。



Q2, もし、ランドセル以外の方法で、学校に学習道具を持っていくことになったら、どんな方法があるかな？ ランドセルを使う場合は、どんなデザインがいいかな？ 自由に書いてみよう。



【身の周りにある物や事の『あたり前』を疑ってみよう】

「創造力」とは新しいことを生み出す力のことで、正解が一つではない問題に取り組んだり、アイデアを出したりするときに必要な力になります。身の回りのことを「なんで？」「他の地域や国ではどうなのかな？」「もし～だったら？」などの視点で考えることは、創造力の訓練につながります。『あたり前』と感じることを、少し立ち止まって違う視点から考えてみませんか？

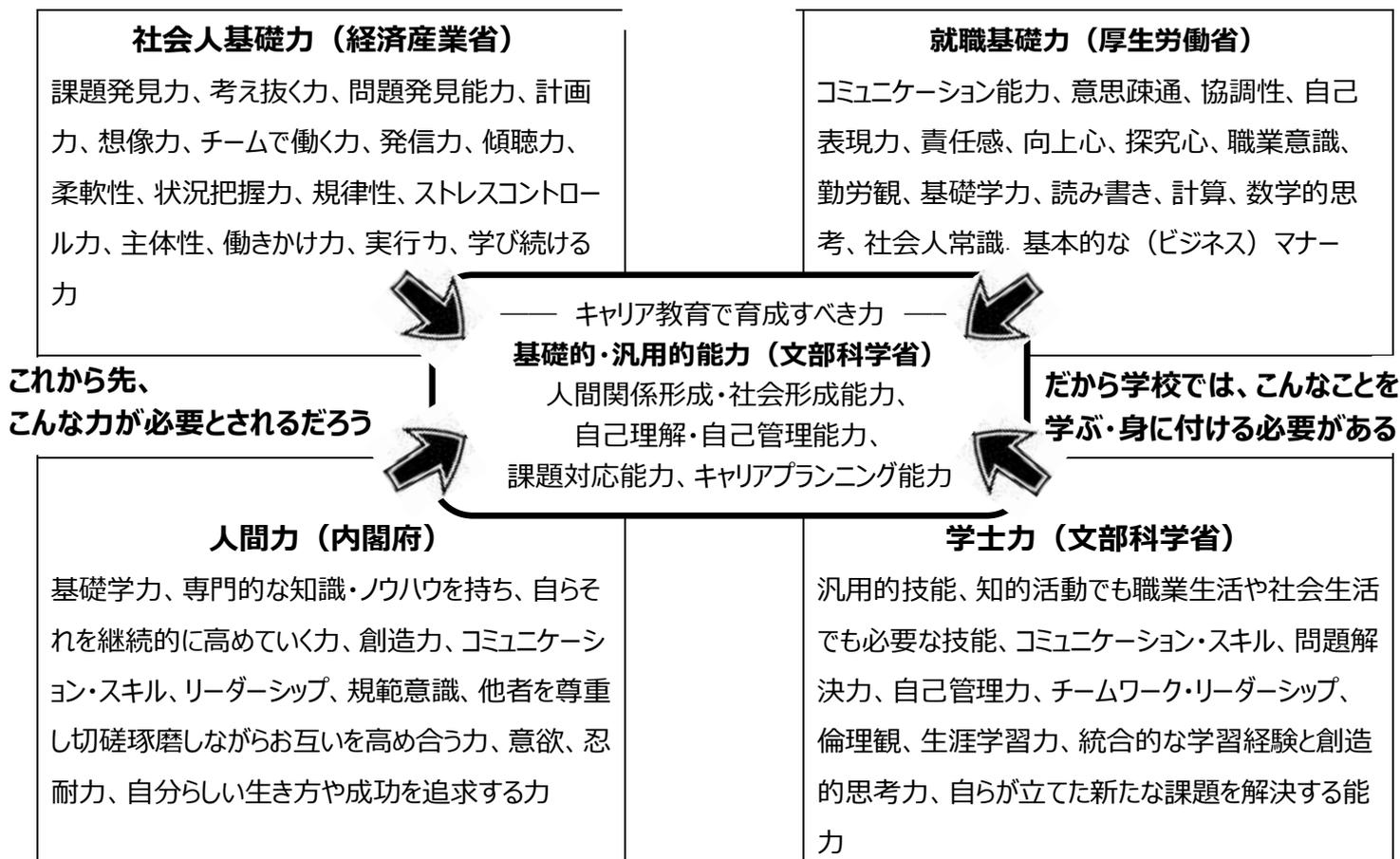


キャリアナビ通信

2021年10月号

発行：植田東小キャリアナビゲーター 鎌先恵美子

2020年度から順次、新しい学習指導要領が導入されています。（'20年度～小学校、'21年度～中学校、'22年度～高等学校）では、なぜ導入されることになったか、その背景も、少子高齢化（生産年齢人口の減少）、グローバル化、絶え間ない技術革新、雇用環境の変化、といった社会構造の変化が思い浮かんだのではないのでしょうか。2019年頃からは、コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大も大きく影響し、まさに予測不可能な時代に突入しています。そこで、この**予測不可能な時代を生き抜くために必要な力**として示された提言にあるキーワード（一部抜粋）と、新しくなった学習指導要領との繋がりを見てみましょう。



高等学校の学習指導要領に深く関係するキーワード **探究**、

高等学校の新しい学習指導要領のキーワードのひとつに『探究』があります。広義で考えれば、まさにこの探究における学習の繰り返しこそが、予測不可能と言われる時代において必要な力の土台になっていくと言えるのではないのでしょうか。『探究』というキーワードが強調されるのが高等学校の学習指導要領からではありますが、ご家庭でも

これから先、を少し意識して、お子様がわくわくするような場面において、お子様自身の探究につながるような関わりや問いかけをしてあげたいものです。

探究における生徒の学習の姿

